

保健師ジャーナル 第77巻 総目次

2021年(1—12号)

(表示は、著者名：題名、号数、開始ページ数)

特集

[1月号] 差別と偏見と公衆衛生

- ・北村英哉：差別や偏見はなぜ起こるのか？. **1**, 12.
- ・市川誠一：感染症との共生を考える—エイズにおける偏見・差別と“Living Together”による啓発から. **1**, 19.
- ・崔炯仁：福島第一原子力発電所事故被災者に対する差別—放射線被害への差別と被害矮小化の狭間で. **1**, 25.
- ・伏見香代：複合災害による差別・偏見がある中で
の保健師活動. **1**, 33.
- ・松本俊彦：「津久井やまゆり園」入所者殺傷事件
に見る、障害者差別・偏見を生み出す背景. **1**,
39.
- ・木村哲也：ハンセン病差別と保健師活動. **1**, 44.

[2月号] これからの産後ケア—法改正後の保健師の役割

- ・芳賀光里、猿渡央子、小林秀幸：母子保健法の改
正と産後ケア事業ガイドラインの改定から考える
保健師の役割. **2**, 100.
- ・中板育美：産後ケアを通じて保健師は何を目指す
のか—ガイドライン改定を踏まえて. **2**, 106.
- ・越林いづみ、畑中美優寿：地域の特性に応じた産
後ケア事業と保健師の役割—高浜町の産後デイ
サービスの取り組み. **2**, 113.
- ・椎名篤子：産後ケアに関わる保健師さんへのメッ
セージ—子ども虐待の取材と支援の経験から言え
ること. **2**, 121.

[3月号] 「自殺対策」のいま

- ・本橋豊、木津喜雅、吉野さやか：「自殺対策」の
いま—コロナ禍の影響と自治体における方向性.
3, 192.
- ・富田恵子、榊原通子、佐藤浩司、長岡子龍：群馬
県の取り組み—保健師主導のゲートキーパー養成

と若年への自殺対策. **3**, 200.

- ・松本康一、西垣明子：長野県の取り組み—生きる
ことの包括的な支援としての自殺対策. **3**, 207.
- ・道本久臣：八尾市の取り組み—“ほっとかれへ
ん”を合言葉にした部局横断的な自殺対策推進.
3, 212.
- ・佐々木久長、小山恵里子、石田郁、播摩優子：藤
里町の取り組み—地域参加型の自殺対策. **3**,
219.

[4月号] 全世代型地域包括ケア—縦割り組織をつ なぐコソとは？

- ・藤原佳典：地域共生社会に向けた重層的支援体制
整備事業と多世代アプローチ. **4**, 276.
- ・大澤絵里：地域共生社会における分野横断的支援
体制の構築に向けて—統括保健師への期待. **4**,
283.
- ・徳田元子：岡山市の取り組み—地域の多職種・多
機関の連携で地域共生社会を目指して—生活支援
体制整備事業を通じた全世代型地域包括システム
構築. **4**, 288.
- ・相良裕美：多摩市の取り組み—健幸まちづくり宣
言を担う—医療的ケア児(者)施策を通して. **4**,
295.
- ・稲垣伊津穂：病院看護師・訪問看護師・保健師で
つなぐ地域包括ケア—その人らしく、安心して生
活できる地域づくりを病院看護管理者の立場から
考える. **4**, 301.

[5月号] 連携・協働する関係者を知る—保健師に 期待されていることとは

- ・清田啓子：地域の関係者と有意義な連携・協働を
果たすには. **5**, 360.
- ・相良洋子：産科医師による妊産婦のメンタルヘル
ス支援と保健師への期待. **5**, 365.
- ・藤林武史：母子保健における精神科医師と保健師
との連携・協働. **5**, 369.
- ・川名三知代：薬剤師による在宅療養児への災害時

- 対策—保健師との連携・協働に向けて. **5**, 372.
- ・小瀬古伸幸：訪問看護師と保健師との連携—精神科訪問看護の立場から. **5**, 375.
 - ・諸岡歩：災害支援における栄養士の活動と保健師との連携・協働. **5**, 378.
 - ・篠山潤一, 大串幹, 安尾仁志, 瀬川真史, 澤村誠志：理学療法士との協働を図るための視点—地域リハビリテーション推進体制整備の活動を通じて. **5**, 381.
 - ・平田樹伸：地域活動における作業療法士の視点・強みと, 多職種連携・協働の意義. **5**, 384.
 - ・井利由利：ひきこもり支援における公認心理師の活動と多職種連携・協働. **5**, 386.
 - ・野村武司：地域活動に関する弁護士と保健師との連携・協働. **5**, 389.
 - ・佐甲学：民生委員・児童委員活動と保健師活動の連携について—身近な地域の民生委員活動に寄り添い, 地域の専門職との橋渡し役を期待. **5**, 392.
 - ・東美奈子：相談支援専門員による障害者の生活支援と連携・協働のポイント. **5**, 395.

[6月号] COVID-19 対策における保健所保健師の活動—第9回日本公衆衛生看護学会特別企画

- ・斉藤富美代：COVID-19 対策を通じた地域づくりと保健師の役割—地域の医療機関等との連携・協働. **6**, 454.
- ・河西あかね：感染症対策における保健師の専門性と「人材育成」—東京都南多摩保健所のCOVID-19 下での実践から. **6**, 460.
- ・本田浩子：COVID-19 体制に伴う地域保健担当保健師のジレンマと課題—東京都多摩小平保健所の実践から. **6**, 469.
- ・深津恵美：福祉機関との新たな連携でCOVID-19 下でのサービス停滞を防ぐ—北海道江別保健所の実践から. **6**, 475.

[7月号] DV と子ども虐待

- ・山縣文治：DV と子ども虐待との関係—早期発見・支援の重要性と保健師への期待. **7**, 556.
- ・可見康則：DV 被害者支援のための法制度と課題. **7**, 561.
- ・大島亜友美：DV 被害者やその子どもに必要な支援とは—母子保健の現場でできること. **7**, 567.
- ・渡辺好恵：産後に強い不安感を訴えた母親への保健師によるDV 対応と虐待予防—NPO 法人埼玉子どもを虐待から守る会の事例. **7**, 573.
- ・田畑奈津美：児童相談所保健師によるDV 対応と虐待予防—川崎市の事例. **7**, 579.

[8月号] 保健師活動の基盤となる「信頼」を得る

- ・中谷内一也：信頼をどう得るのか—心理学的な観点から. **8**, 636.
- ・佐藤純：対応が「難しい」事例への支援における「信頼」. **8**, 641.
- ・金澤悠介：現代における信頼生成のメカニズム. **8**, 646.
- ・鈴木浩子：母子保健における信頼—地域の子育て支援に対する母親の思い. **8**, 652.
- ・小川佐知：住民活動における信頼—高知市「いきいき百歳体操」の取り組みを通じて. **8**, 658.
- ・本橋宜臣：事務職(上司)から見た保健師への信頼. **8**, 664.

[9月号] レジリエンス—困難を乗り越えるための力を高める

- ・小玉正博：レジリエンスとは. **9**, 720.
- ・中板育美：保健活動におけるレジリエンスに着目して. **9**, 725.
- ・廣島麻揚, 渡會睦子：災害とレジリエンス. **9**, 728.
- ・奥山真紀子：子ども虐待と子どものレジリエンス. **9**, 736.
- ・宮本有紀：精神障害を持つ人のレジリエンスに働き掛ける. **9**, 741.

[10月号] 元気の出る会議—「参加して良かった!」を引き出すコツとワザ

- ・吉岡京子：保健師にとっての会議の意義と課題. **10**, 796.
- ・加留部貴行：「元気の出る会議」を創るポイント. **10**, 802.
- ・釘山健一：意見を引き出し, 会議を明るくする進め方—日本型ファシリテーションによる会議運営. **10**, 808.
- ・ちょんせいこ：ひとやまちが元気になる—ホワイトボード・ミーティング®を始めよう. **10**, 815.

[11月号] コロナ禍から学ぶ市町村の保健活動

- ・尾島俊之, 鳩野洋子：コロナ禍から学ぶ市町村の保健活動. **11**, 872.
- ・向坂香織：あさぎり町の取り組み—医療と連携したところと身体の「健幸」な町づくり. **11**, 877.
- ・阿部朱美：廿日市市の取り組み—通いの場を中心とした介護予防事業. **11**, 883.
- ・鎌田典子：四日市市の取り組み—コロナ禍における認知症カフェでの取り組み—認知症の人や家族が安心して暮らせるまちを目指して. **11**, 889.

[12月号] SDGs と保健師活動—その視点と取り組みの活用

- ・河原一貴：SDGs とは—取り組みの背景と現状. **12**, 950.
- ・大澤絵里, 児玉知子：SDGs と地域保健活動とのつながり. **12**, 956.
- ・中神泰次, 鈴木稚佳子, 柴川ゆかり, [インタビュー] 木戸美代子, 中根恵美子：豊田市における SDGs の取り組みと保健師活動. **12**, 963.
- ・高本佳代子, 小川真奈美：SDGs と保健活動—子育て支援ネットワークとの協働による熊本市の防災教育. **12**, 971.
- ・永岡加寿子, 大堀雄一郎：保健師が関わる持続可能な“ひと”と“まち”の健康づくり—SDGs 未来都市 富田林市. **12**, 979.

PHOTO・PICK UP

PHOTO

- ・民間のノウハウを生かした介護予防無関心層への挑戦！—堺市介護予防「あ・し・た」プロジェクトの取り組み. **2**, 93.
- ・卓球珈琲で健康づくりとまちづくり—桑名市の公民連携の取り組み. **3**, 185.
- ・一般社団法人おもしろ健康教育研究所, 伊藤純子, 高橋佐和子：「おもしろい！」を引き出し関心を高める健康教育の実践——一般社団法人おもしろ健康教育研究所の取り組み. **4**, 269.
- ・藤沢市の取り組み—「ステイホームダイアリー」による“つながりづくり”—コロナ禍におけるフレイル対策. **5**, 353.
- ・富良野市の取り組み—「ふまねっと運動」による住民主体の健康づくり. **6**, 447.
- ・COVID-19 下で実施した介護予防体操「エコロコ！やまべ誰でも体操」の効果検証—札幌市西区の取り組み. **8**, 629.
- ・下呂市の取り組み—“まちぐるみ”での食環境整備「下呂・減塩・元気大作戦」. **9**, 713.
- ・COVID-19 流行下でも継続実施した精神保健活動—港区みなと保健所の取り組み. **10**, 789.
- ・あさぎり町の取り組み—医療と連携したこころと身体の「健幸」な町づくり. **11**, 865.

PICK UP

- ・井上京子, 多賀井眞紀, 安齊智子, 花家薫, 阿加井博：民間のノウハウを生かした介護予防無関心層への挑戦！—堺市介護予防「あ・し・た」プロジェクトの取り組み. **2**, 130.
- ・石田紀子：卓球珈琲で健康づくりとまちづくり—

桑名市の公民連携の取り組み. **3**, 226.

- ・吉川慎子, 石田大輔：藤沢市の取り組み—「ステイホームダイアリー」による“つながりづくり”—コロナ禍におけるフレイル対策. **5**, 400.
- ・澤田奈苗：富良野市の取り組み—「ふまねっと運動」による住民主体の健康づくり. **6**, 494.
- ・高野園子, 相馬愛, 鷹橋理沙, 柏葉直子, 長谷川唯：COVID-19 下で実施した介護予防体操「エコロコ！やまべ誰でも体操」の効果検証—札幌市西区の取り組み. **8**, 676.
- ・森本千恵：下呂市の取り組み—“まちぐるみ”での食環境整備「下呂・減塩・元気大作戦」. **9**, 748.
- ・樋口侑香, 松橋碧, 田辺歩, 相馬あおい, 石井友子, 二宮博文, 松本加代：COVID-19 流行下でも継続実施した精神保健活動—港区みなと保健所の取り組み. **10**, 824.

座談会・対談

創刊 70 周年記念座談会

- ・澁谷いづみ, 大木幸子, 平野かよ子：保健師の歩みを支える力—これまでとこれから. **1**, 2.

対談

- ・栗原加代美, 中板育美：DV と子ども虐待の支援において大切な視点とは—加害者への対応と被害者の支援に必要な関わりと連携. **7**, 543.
- ・松本珠実, 岡本玲子：保健師の経験や知見を共有し新たなつながりへ—日本公衆衛生看護学会学術集会 10 周年記念大会を前に. **12**, 939.

特別記事・TOPICS・FOCUS

特別記事

- ・加藤典子：新型コロナウイルス感染症の感染拡大時における保健所等の体制強化—厚生労働省の取り組み. **6**, 482.
- ・鎌田久美子, 日本看護協会健康政策部保健師課：「自治体保健師の仕事説明会」—保健師人材不足解消に向けた日本看護協会の取り組み. **8**, 670.
- ・加藤丈夫：無料統計ソフト「EZR」を使ってみよう①—某大学運動部の COVID-19 集団感染の原因は練習？ 飲み会？. **11**, 904.
- ・加藤丈夫：無料統計ソフト「EZR」を使ってみよう②—アンケート調査結果を統計解析する. **12**, 990.

FOCUS

- ・阿部由奈, 新井久子, 堀成美, 関口有華, 寺戸尚美, 石井友子, 糟谷優, 舟木素子, 松本加代: 高齢者施設における新型コロナウイルス感染症集団発生—みたと保健所における保健師活動を振り返って. **5**, 406.
- ・山田祐子, 西本美和: 新型コロナウイルス感染症における保健師活動調査—全国保健師長会による2020年度の調査結果と2021年度の調査予定. **6**, 487.
- ・松浦仁美, 高森快海, 竹内竜美, 影山康彦, 倉田朋子, 三木優子: 中予保健所の取り組み—乳幼児健診の質向上を目指した検討の場「乳幼児健診Skills Study」—地域全体の標準化による技術の可視化と習得. **11**, 896.

研究・調査報告・活動報告

調査報告

- ・仁木敦子, 杉山真理子, 伊永真季, 林美恵子, 江口晋, 植田紀美子: 児童相談所における保健師の専門性と専門職との協働の実態とあり方—児童福祉司と児童心理司への調査から. **6**, 500.
- ・佐々木理沙, 榊原文: COVID-19における保健所および保健師の対応と課題. **12**, 996.

活動報告

- ・藤崎万裕, 本田千可子, 加藤たか子, 中山みずほ, 三島直子, 次郎九奈美, 大谷温子, 篠原真純, 角川由香, 寺本千恵, 岩崎りほ, 成瀬昂, 山本則子: 地域住民・自治体・大学の連携による地域貢献活動—「東京大学ふみのみやこ倶楽部」. **1**, 50.
- ・内田千寿, 伊藤恭子, 橋本久美, 牧野由美子: 出雲圏域における在宅療養者の低栄養改善・食支援の取り組み. **2**, 136.
- ・三浦康代, 井上葉子, 松村あゆみ, 上梶佳代子, 阿波邦彦, 森村佳史, 島本卓也: 大学衛生委員会が作成した新型コロナウイルス感染拡大防止のための「出席停止期間早見表」と「出勤不可期間早見表」. **4**, 308.
- ・佐藤あかり, 松永篤志, 蜂谷沙織, 小田島真理, 本間洋子, 佐々木秀美, 田口敦子, 津野陽子, 大森純子: 東北大学大学院保健師実習での取り組み—宮城県登米市A町域における3歳児のむし歯予防策の展開. **7**, 586.

連載

研究室からのメッセージ

- (178) 土平俊子, 福井美貴: 人間総合科学大学保健医療学部看護学科 地域看護学. **2**, 181.
- (179) 奥野みどり, 勅使川原洋子, 橋本いずみ: 群馬医療福祉大学看護学部看護学科 公衆衛生看護学. **7**, 625.
- (180) 滝川洋子, 立川美香, 山崎千鶴代: 宇部フロンティア大学人間健康学部看護学科 公衆衛生看護学. **8**, 695.
- (181) 三徳和子, 長弘千恵, 石井久仁子, 荒金英里子: 兵庫大学大学院看護学研究科看護学専攻. **9**, 783.

「おも★けん!」新任期でもできる! おもしろ健康教育のつくり方: 一般社団法人おもしろ健康教育研究所, 伊藤純子, 高橋佐和子

- (10) おもしろい健康教育のレシピー対象者の心を満足させるおいしい指導案はいかが? **4**, 324.
- (11) オンライン健康教育に挑戦しよう—新人が活躍できるチャンス到来? **5**, 420.
- (12) アイスブレイクパーティ! —会場の緊張をほぐす10のワザ. **6**, 510.
- (13) 健康教育の成功が7割決まる! —参加者の心をつかむ事業周知チラシの作り方. **7**, 594.
- (14) こつこつ「話トレ」で達人に近づこう—話し上手な人がこつそりやっている練習法. **8**, 690.
- (15) 参加者の意欲をオンにする! —効果的な会場設営のコツ. **9**, 756.
- (16) 知っているとかっこいい話題のワード—基礎知識と健康教育への活かし方. **10**, 830.
- (17) 意見交換タイムに火をつけろ! —参加者がアイデアを出しやすくするテクニック. **11**, 920.
- (18) アイデアのスイッチ—創造性を高める技術を学ぼう. **12**, 1006.

ポジティブな地域づくりを考える ポジティブ心理学×公共哲学から見る公衆衛生活動: 島井哲志, 小林正弥

- (10) 人生の意味と実存. **1**, 82.
- (11) 将来志向性と希望. **2**, 172.
- (12) 地域のウェルビーイングとポジティブ心理学—連載の中間まとめ. **3**, 258.
- (13) 新型コロナウイルス感染症をめぐるジレンマと政治哲学・ポジティブ心理学. **9**, 774.
- (14) 災害時のポジティブ心理学アプローチ. **10**, 852.
- (15) 地域でのウェルネス向上へのアプローチ.

11, 926.

- (16) 食行動へのポジティブ心理学アプローチ感謝とボディイメージ. **12**, 1020.

行動変容を導く ナッジの利いた保健活動：高橋勇太, 村山洋史, 竹林正樹

- (1) なぜ、今ナッジなのか？. **1**, 60.
(2) 人の意思決定の癖(バイアス)：前編. **2**, 146.
(3) 人の意思決定の癖(バイアス)：後編. **3**, 232.
(4) ナッジ実践の枠組み, EAST. **4**, 318.
(5) 「Easy(簡単に)」活用のためのポイント. **5**, 426.
(6) 「Attractive(印象的に)」活用のためのポイント. **6**, 516.
(7) 「Social(社会的に)」活用のためのポイント. **7**, 598.
(8) 「Timely(タイムリーに)」活用のためのポイント. **8**, 682.
(9) ナッジを実際に使ってみる. **9**, 760.
(10) ナッジの効果検証. **10**, 836.
(11) 限界を知った上でナッジを使う. **11**, 912.
(12) 高橋勇太, 村山洋史, 竹林正樹, 赤塚永貴：保健活動におけるナッジの未来. **12**, 1012.

時代が求める！保健師記録の仕組みづくり 記録を生かした人材育成と情報開示の捉え方

- (1) 柳澤尚代, 清水洋子, 菅原京子, 吉本照子：保健師記録のシステムを生かした人材育成—データヘルス時代を迎えて. **1**, 66.
(2) 清水洋子, 波田野房枝, 柳澤尚代, 菅原京子, 吉本照子：相模原市の取り組み—記録のシステム化と人材育成. **2**, 158.
(3) 菅原京子, 柳澤尚代, 清水洋子, 吉本照子：保健師記録の情報開示の基本—開示請求をどのように捉えるか. **3**, 248.
(4) 菅原京子, 柳澤尚代, 清水洋子, 吉本照子：保健師記録の情報開示の基本—患者本人の同意が得られない精神科受診・入院. **4**, 328.
(5) 菅原京子, 柳澤尚代, 清水洋子, 吉本照子：保健師記録の情報開示の基本—虐待の「加害者」による開示請求. **7**, 608.
(6) 柳澤尚代, 吉本照子, 清水洋子, 菅原京子：保健師記録の質改善に向けた研修プログラムの考え方. **8**, 696.

あるある事例で考える 保健師のための倫理 知れば広がる個人情報活用と学会発表

- (1) 嶋野洋子, 岡順子, 緒方文子, 後藤智江, 嶋津多恵子, 住徳松子, 松尾和枝, 藤野善久：健診

データを使って学会発表することはできる？. **1**, 72.

- (2) 後藤智江, 松尾和枝, 嶋野洋子, 岡順子, 緒方文子, 嶋津多恵子, 住徳松子, 藤野善久：事業アンケートの分析結果を学術誌に投稿することはできる？. **2**, 152.
(3) 嶋津多恵子, 嶋野洋子, 住徳松子, 松尾和枝, 岡順子, 緒方文子, 後藤智江, 藤野善久：学会の倫理審査を受けるときには, 所属長の許可はいらない？. **3**, 238.
(4) 緒方文子, 嶋野洋子, 嶋津多恵子, 住徳松子, 松尾和枝, 後藤智江, 岡順子, 藤野善久：実習で得たデータを発表できる？. **4**, 336.
(5) 岡順子, 嶋野洋子, 後藤智恵, 嶋津多恵子, 住徳松子, 松尾和枝, 緒方文子：自治体間での健診データの移行は, 個人情報保護に関連する法律に反しない？. **5**, 432.
(6) 住徳松子, 嶋野洋子, 松尾和枝, 岡順子, 緒方文子, 後藤智江, 嶋津多恵子：企業でのメタボ対策の成果を健診データを用いて発表できる？. **6**, 522.
(7) 嶋野洋子, 嶋津多恵子, 緒方文子, 岡順子, 後藤智江, 住徳松子, 松尾和枝：倫理と保健師活動の接点はどこ？. **7**, 604.

保健活動の現場を変える EBPH エビデンスの探し方と活用の仕方

- (1) 小林真朝：「EBPH」とその特徴—連載のはじめに. **1**, 76.
(2) 八重ゆかり：EBMに学ぶ, 実践における疑問の見つけ方と可視化する方法. **2**, 164.
(3) 梅田麻希：活用事例①—行動に制限がかかる状況における母子の健康. **3**, 242.
(4) 嶋津多恵子, 白谷佳恵：活用事例②妊婦の喫煙防止対策—両親学級で, たばこの害についての講話は効果的？. **4**, 342.
(5) 佐川きよみ：保健師にとっての根拠とは—保健活動と暗黙知とその伝承. **5**, 438.
(6) 持田恵理：現場で使える研究方法, 実装研究(Implementation Research)とは. **6**, 532.

新・健康格差社会 どこまで解明・対策は進んだか：近藤克則

- (1) 何が心と健康を蝕むのか①—健康格差の発見から現在まで. **5**, 414.
(2) 何が心と健康を蝕むのか②—健康格差縮小のための残された課題. **6**, 526.
(3) 今後必要となる取り組みと研究①—ゼロ次予防への取り組み. **7**, 618.

- (4) 今後必要となる取り組みと研究②—エビデンスのレベルと実装研究. **8**, 704.
- (5) 仕事と健康—職業性ストレスから健康経営まで. **9**, 768.
- (6) 社会疫学を巡る今後の課題. **10**, 844.

BOOKS

- ・ 大生定義：『看護のためのポジティブ心理学』.
5, 399.